



第188号



# KYOEI NEWS



共栄システム株式会社

〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目15番7号

TEL(06)-6535-7511 FAX(06)-6535-7517

E-mail osaka@kyoeisystem.co.jp

URL http://www.kyoeisystem.co.jp

## <運送会社の経営情報>

### 労働時間の削減と荷主の協力

今年になって、運送事業者の過重労働防止対策として労働基準監督署の指導が例年以上に頻繁に実施されるようになりました。とりわけ、改善基準告示第4条に定められている月間の拘束時間（293時間）の遵守については、厳しい指導がなされています。安全を預かる運送事業者にとっては、この規定の遵守は当然のこととはいえ、運送業界を取り巻く環境を考えれば、多くの事業者にとって難しい一面もあります。



ドライバーの長時間労働を抑制することの困難な理由の一つに荷主側の事情があります。物流コストの削減を進める結果、そのしわ寄せが運送事業者に波及しているのが実情です。このような中、国もようやく腰を上げ荷主側への働きかけを実施しました。

平成27年5月には、厚生労働省・国土交通省共催で、取引環境の改善および長時間労働の抑制を実現するための具体的な環境整備等を図ることを目的として「**トラック輸送における取引環境・労働時間改善中央協議会**」が開催されました。

この協議会では、平成31年4月までにトラック輸送における長時間労働の抑制に向けて、全国でトラック運送事業における長時間労働の実態調査を実施するなど、今後も議論を進めることとしています。

**長時間労働の是正も賃金の引上げも、荷主側の協力がなければ実現するできません。**この点、協議会には大手荷主も参加しており、今後は協力が求められる部分が増えることとなりそうです。

また、物流という観点から日本経済を下支えしているトラック運送業界では、人材不足が深刻です。積荷の量が増え、その荷を運ぶためのトラックの用意はできていても、運転するドライバーの数が足りないという運送事業者が増えています。

物流業界は「長時間労働・低賃金」というイメージが先行しており、なかなか手もいないのが現状です。

そのような中でドライバーを確保するためには、**労働環境を整備**することも求められることとなり、これが最近の運賃の値上げ傾向に跳ね返っているという面もあります。

現在、**一部の物流大手では運賃の値上げに踏み切っています。**まだ業界の一部の動きではありますが、物流業界全体で運賃値上げの機運が高まっているとの指摘もあり、今後、中小・零細企業がこれに追随することも十分考えられます。



長時間労働を是正するためには、ドライバーの要員確保が必要であり、**他業種に劣らない適正処遇が求められます。**また、長時間労働の主要な原因の一つである納品時の手待ち時間の短縮化についても、荷主企業の協力がなければ実現できません。

ドライバーの長時間労働の抑制のためには、運送事業者自らの業務改善への取組みは無論のことですが、荷主企業からの適正運賃の収受、納品時の待ち時間の削減等の協力は不可欠と言えます。

※※共栄ニュースはeメールによる配信も承ります。※※

ご要望の際はメールアドレスをFAX(06-6535-7517)までご連絡下さい。

貴社名	アドレス